



イノチオ防除チラシ
2025年11月号

キュウリ

inochio
GROUP

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

定植時～生育初期防除

11月以降はハウスを締め切る時間が長くなり、湿度の高い時間が長くなります。
多湿条件が続くと病害が発生しやすくなるため、定期的に防除を行いましょう！
また、アザミウマ類の発生にも注意が必要です。天敵導入前の防除を心掛けましょう！



この症状はどんな病気？～うどんこ病・べと病～

【うどんこ病(*Oidiopsis sicula*

*Sphaerotheca cucurbitae*など)】



主に葉に発生する。葉の表面に淡い白い斑点を生じ、明瞭な白色・粉状となる。多発時は、葉裏や茎にも病斑を生じ、葉全体が白色のカビに覆われ、黄化して枯死する。病原菌は数種類知られており、時期や地域によって発生が異なる。*Oidiopsis*属の場合は孢子形成はまばらで、病斑は黄白色となる。その裏面はやや角ばった淡黄色の不鮮明な斑点となる。

【べと病(*Pseudoperonospora cubensis*)】



葉に発生する。淡黄色の境界が不鮮明な斑点を生じ、やがて病斑は拡大して淡褐色になり、葉脈に囲まれた角張った病斑となる。多発時は病斑は癒合し、葉全体が枯死する。一般に下葉から発生し、上位葉に広がる。湿度が高い時には、病斑の裏面に灰色～黒色のカビを生じる。

IRAC	対象病虫害	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	スワルスキー 影響日数
52	菌核病・炭疽病 つる枯病・灰色かび病	ミギワ10フロアブル	○	—	1,000倍	前日	3回	0日
15	コナジラミ類・ウリナメカ	マッチ乳剤	—	—	2,000倍	前日	3回	0日
24, M01	うどんこ病・斑点細菌病・べと病	カッパーシン水和剤	○	○	1,000倍	前日	5回	7日
6	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック	—	—	500～1,000倍	前日	2回	7日
7	うどんこ病・褐斑病 菌核病・つる枯病・灰色かび病	ケンジャフロアブル	○	○	1,500倍 (菌核病・灰色かび病 :1,000～1,500倍)	前日	4回	0日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	—	—	2,000倍 (コナジラミ類:1,000～2,000倍)	前日	2回	0日
U17	べと病	ピシロックフロアブル※	○	○	1,000倍	前日	3回	0日
5	アザミウマ類 ハモグリバエ類・ウリナメカ	スピノエース顆粒水和剤	—	—	5,000倍	前日	2回	14日

対象病虫害によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※うり類登録

フセキワイド フロアブル

うどんこ病に新たな一手

1,000倍 / 収穫前日 / 4回

うどんこ病・つる枯病

※ベルコート水和剤

フロアブルとの使用回数注意

うどんこ病に優れた予防効果！
新規作用機作のピリダクロメチル含有



毎月1日掲載
各作物をチェック！

